

## 〈研究論文〉

## クルーズ船インバウンド客の決済方法に関する研究

## — 中国訪日客2017年長崎調査 —\*

小原 篤次<sup>†</sup>  
瀧田 水紀<sup>‡</sup>

## 要 約

2017年12月、上海発で長崎に寄港したクルーズ船客を対象にアンケート調査（回収107、有効回答数100）を実施した結果、同年10月に対馬で実施した韓国人訪日客調査ほどには、母国と観光地での決済方法のギャップは確認できなかった。韓国人は日常的にクレジットカードを利用するが、対馬ではクレジットカードへの対応が長崎より遅れていたことになる。中国国内では、支付宝などモバイル決済がクレジットカードより日常的に利用されていることが確認された。ただ、長崎でのモバイル決済利用は、クレジットカードのほか、デビットカードの銀聯カードを下回った。モバイル決済への対応および対応のアピールが長崎の課題として指摘できる。クルーズ船客は寄港地で宿泊しないため、消費が限られるという懸念もある。本研究では、5日間の全旅程のうち3日目の調査ではあるが、長崎での消費がクルーズ船内を上回っていることがわかった。

## I. はじめに

日本の訪日外国人旅行者（インバウンド客）は2018年、3000万人を超え、インバウンド客の旅行消費総額も過去最高の4兆5064億円に上った。政府は地方創生の政策として、2020年には4000万人、2030年には6000万人の目標を掲げている。長崎や福岡など九州は中国人観光客の割合が高い。とくに、クルーズ船客は上陸時間が短いため、2019年はラグビーのワールドカップ

が福岡、大分、熊本でも開催されるため、欧米人向けのPRを強化したいという期待も飛び出すほどである<sup>1</sup>。

インバウンド客の需要は本来、変動が激しく、地方経済が国際経済に連動する現象である。海外の景気動向、為替水準、自然災害、テロ、政治情勢、疫病などの影響を受ける。日本の場合、比較的低い水準から、近隣のアジア諸国の所得向上でインバウンド客が増加してきた。豪州とニセコのような成功例もあるが、欧

\*本研究は JSPS 科研費 JP18K11821 の助成や、公益財団法人石井記念証券研究財団の平成30年度研究助成「世界各地のキャッシュレス化が金融機関の業務に与える影響に関する研究（研究代表者：川野祐司氏）」の支援を受けたものである。なお、小原が瀧田らと実施した2017年12月17日に実施したアンケート調査に基づいて、瀧田は2019年1月、卒業論文「訪日中国人観光客の買い物・決済についての研究—長崎へのクルーズ船客に対するアンケート調査—」として同大学国際交流学科に提出している。ただし、本研究は、瀧田論文とは違い、アンケート調査を中心に作成している。

<sup>†</sup>長崎県立大学国際社会学部准教授

<sup>‡</sup>長崎県立大学国際情報学部国際交流学科

米からの地理的距離を縮めることは容易ではない。

観光はPR という政策につながりやすいが、それだけが政策ではないだろう。日本は現金大国で、交通系電子マネーのSUICA のような技術<sup>2</sup>を持ちながら、キャッシュレス化がなかなか進んでこなかった<sup>3</sup>。他方、英語教育を改革しながら、さらに訪日外国人旅行者（インバウンド客）や外国人労働者を呼び込もうとしている。開発途上国も含めてキャッシュレス化が進む中、キャッシュレス化の遅れは、インバウンド観光受け入れの障害にならないのだろうか。

そこで、本研究は、2017年12月、中国・上海発で長崎に寄港したクルーズ船を対象にしてインバウンド客のアンケート調査（中国訪日客2017年長崎調査）を実施し、中国と日本での決済方法のギャップを明らかにすることを目的とする。長崎をはじめ日本に來航するクルーズ船の場合、インバウンド客は中国人が圧倒的である。

全国ベースで、クルーズ船客に占める中国人の割合は2017年で85.9%、2018年で82.6%を占めている<sup>4</sup>。中国訪日客2017年長崎調査は調査対象はすべて中国人として扱っている。同調査に先駆けて、小原・平良（2018年）は2017年10月、対馬で韓国人インバウンド客を対象にアンケート調査（韓国訪日客2017年対馬調査）を実施し、母国ではクレジットカードを最も利用する韓国人が対馬では現金を利用せざるを得ない実態を明らかにした<sup>5</sup>。

第Ⅱ節では、キャッシュレスの先進地スウェーデンの状況やクルーズ船に関する観光庁調査の変化にも触れ、第Ⅲ節で、アンケート調査結果を紹介し、小原・平良（2018年）とも比較しながら、現状と課題を考察する。

## Ⅱ. 問題意識—決済方法とクルーズ観光

2016年、現金残高のGDP比では、スウェーデン1.4%、ノルウェー1.6%、ブラジル3.7%、英国3.9%、韓国5.9%、米国8.1%などに対して、日本は20.0%となっている<sup>6</sup>。

このように、欧米、さらに開発途上国や新興国でもキャッシュレス化が進み、とくに、スウェーデンでは紙幣やコインの流通量が激減している。とくに鉄道やバスなど公共交通機関ではキャッシュレス化が徹底している（図1）。鉄道の乗車券を誤って購入して、たとえ、運よく駅員を捕まえても、駅員らは払い戻しの役割も現金も持たされていない。コールセンターに連絡して払い戻しの手続きが必要になる。つまり、公共交通、金融サービスなど徹底した合理化とセットで進んでいる<sup>7</sup>。

図1 決済はカードのみを示すスウェーデン国家鉄道株式会社の駅構内売店



（出所）2018年10月27日午後、Gävle Central Station で筆者撮影。

他方、日本は世界的に見ても紙幣に対する信頼が高く、SUICA など交通系カードが普及するなど独自の支払い方法が普及してきた。近隣

図2 観光庁の2017年までの金融機関利用と決済方法の設問

●C5. 日本国内で使った金融機関や決済方法を選んでください。  
(いくつでも)

<金融機関>

- 空港の両替所  
 銀行・郵便局  
 ATM  
 その他両替商  
 宿泊施設での両替

<決済方法>

- 現金  
 クレジットカード  
 デビットカード(銀聯カード等)  
 交通系ICカード(Suica等)  
 その他(トラベラーズチェック、Edy等)

(出所) 観光庁(2019年1月16日)「訪日外国人消費動向調査」調査票(2017年第3四半期~2017年第4四半期)。

図3 観光庁の2018年からの決済方法の設問

●D3. 今回の日本滞在中に使った決済方法を選んでください。(いくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| 1 <input type="checkbox"/> 現金                      | 6 <input type="checkbox"/> モバイル決済 (Alipay, WeChat等) |
| 2 <input type="checkbox"/> クレジットカード                | 7 <input type="checkbox"/> 仮想通貨 (BitCoin等)          |
| 3 <input type="checkbox"/> 交通系ICカード (Suica等)       | 8 <input type="checkbox"/> 割引クーポン                   |
| 4 <input type="checkbox"/> その他のICカード (Edy等)        | 9 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> |
| 5 <input type="checkbox"/> デビットカード (銀聯, Visaデビット等) | 10 <input type="checkbox"/> お金は全く使わなかった             |

(出所) 観光庁(2019年1月16日)「訪日外国人消費動向調査」調査票(2018年1-3月期調査~)(日本語版)。

の韓国や中国でもキャッシュレス化は進んでいる。インバンド観光が増えるとき、こうした日本の安定した現金主義が、インバンド客には不便に感じられ、観光消費に影響は出ないのだろうか。これが本研究の問題意識である。

観光庁の訪日外国人消費動向調査は2018年調査から、決済方法の設問を下記のように変更している。決済方法についての5設問から10設問にした(図2および図3)。本研究が着目しているモバイル決済が新しく設問に加わった。さらに、これまで実施してこなかったクルーズ船客を対象に調査も行う。これまで同様、四半期ベース調査を行い、博多港、長崎港、那覇港の3港で合計960の回収を目指す。

クルーズ船観光は、日中の短時間で、停泊地での飲食は昼食のみ、宿泊は船内施設が使わ

れ、買い物以外に波及効果が少ないという指摘がある。クルーズ船以外のインバンド客の消費金額をクルーズ船客にも当てはめると、インバンド需要を課題に評価することになる。こうした指摘も上記のように観光庁がクルーズ船客に対する調査を始める背景である。

観光庁の検討会は、クルーズ船による訪日外国人旅行者の消費拡大に向けたモデル事業を横浜、鹿児島両港で2019年2月に実施することを決めている<sup>8</sup>。有識者や業界団体でつくる検討会で効果を検証し、3月末までに具体策をまとめるという。観光庁によると、2018年の訪日客1人当たりの消費額は、一般客が約15万3000円に対し、クルーズ客は約4万4000円である。

研究動向としては、中国系研究者の中国観光についての英語論文が増加している。中国語論

文を翻訳して国際ジャーナルに掲載するプロジェクトもある<sup>9</sup>。中国人のクルージング観光についても、観光学のアプローチから英語論文も増加している<sup>10</sup>。こうした中国研究者らの知見との比較は、本研究の今後の課題である。

### Ⅲ. アンケート調査の概要と結果分析

#### 1. 調査対象のクルーズ船ツアーの概要

今回、本研究が調査対象としたのは、上海から4泊5日(表1)のクルーズ船マジスティック・プリンセス号(図4)である。上海茶恬園国際旅行社有限公司によると、ツアー料金は海の眺望や広さで上下する。2人部屋から4人部屋で、ツアー料金は、一人当たり3,999元

～19,999元(日本円で約7万円～約32万円)。インナーキャビン(内舱房)、テラスルーム(露台房)、スイート(套房)に分けられ、スイートの最上位は「部屋41-63㎡+テラス8-31㎡」と表記され、3人で約45,000元である。大人も子どもも同一料金である。

調査対象のマジスティック・プリンセス号は、上海発で長崎だけに寄港して再び上海に戻る。クルーズ船としては、航路の距離は短く、よって価格も比較的高くはない<sup>11</sup>。長崎港のホームページでクルーズ船の寄港予定が公開されている。長崎の前と次の寄港地が公開されている。2017年で前港と後港が確認できるのは267回である。このうち、調査対象のマジスティック・プリンセス号のように前後が同じ港の例は

表1 4泊5日のクルーズ船 Majestic Princess の旅程表

日付		場所	概要	食事			宿泊
				朝食	昼食	夕食	
1日目	2017年12月14日	木 上海	17時出港		○	○	船内泊
2日目	2017年12月15日	金 海上	海上遊覧	○	○	○	船内泊
3日目	2017年12月16日	土 長崎	8時着港、20時出港	○		○	船内泊
4日目	2017年12月17日	日 海上	海上遊覧	○	○	○	船内泊
5日目	2017年12月18日	月 上海	7時着港	○			

(出所) 上海茶恬園国際旅行社有限公司 <http://www.stmits.cn/line/1891.html> から小原作成。

図4 アンケート対象のクルーズ船マジスティック・プリンセス号



(出所) 2017年12月17日午後8時、平野あかり撮影。

97回ある。内訳は上海76回、天津16回、青島4回、温州1回である。長崎にとっては、頻度が多い航海パターンと言える。我々は特殊な航海を調査対象としたわけではない。

作成するにあたって、クルーズ船で長崎へ訪れた訪日中国人観光客を対象に、中国と長崎の決済方法、クルーズ船内及び長崎における消費動向に関するアンケート調査を実施した。本調査では、中国人観光客の長崎での消費金額や決済方法を調べるだけでなく、日本（長崎）と中国での決済手段の違いを明らかにした。

## 2. アンケート調査の概要

中国を拠点とし、長崎松が枝国際ターミナル（図5）にも寄港するクルーズ船「マジスティック・プリンセス<sup>12</sup>」で長崎へ訪れた中国人観光客を対象にアンケート調査（中国語：A4で2枚）を実施した。アンケート調査の調査員は、日本人教員1人のほか、長崎県立大学シーボルト校と長崎大学経済学部の学生6人（中国語専攻1名含む）、中国人留学生7人の合計14人による対面により、2017年12月17日に実施。設問は属性を含めて合計10問。107人から協力を得られたが、属性と決済方法で回答が得られなかったアンケートを除いて合計100人を有効とした。

図5 長崎松が枝国際ターミナル待合室の内と外でも土産が販売されている



（出所）2017年12月17日午後8時、平野あかり撮影。

3日目の長崎観光や買い物を終えた客を調査するため、アンケート調査は午後3時から8時過ぎまで行われた。短時間の調査のため、対馬調査以上の調査員が必要となった。

## 3. 調査の目的

訪日中国人観光客の決済方法や消費行動を調査分析し、理解するだけでなく、訪日観光の課題に気づくことで、観光促進へつなげていくことを目標としている。特に、決済手段に関する質問項目では、長崎だけでなく母国である中国での決済手段も調査し、日中の決済ギャップを明らかにする。

## 4. 分析方法

ソフトウェアはExcelとSPSS<sup>13</sup>を用いて、単純集計とクロス集計を行った。アンケート回収は107人である。クロス分析では、問6の「長崎での買い物合計金額」、問7の「船内で使用した合計金額」、問8の「長崎滞在中に買い物をした場所」、問9の「日常生活での決済方法」、問10の「長崎で使用した決済方法」と、主に5つの質問を分析で利用した<sup>14</sup>。

## 5. アンケート調査の属性

アンケート回答者のうち、男性31人、女性67人で、男女別の年齢構成比は以下の通りである（表2）。年齢無回答2人はともに女性。韓国訪日客2017年対馬調査では、男性65人、女性44人だった。中国訪日客2017年長崎調査の女性割合は69.0%、対馬調査は39.4%である。観光庁の2017年訪日外国人消費動向調査<sup>15</sup>によると、中国人は女性57.0%、韓国人は女性48.6%になっている。

調査員と実施後、レビューすると、「協力してくれそうな層」を狙うという感想がある。こ

表2 有効回答の男女別の年齢構成

		20代以下	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	回答	9	10	6	2	4	31
	性別の%	29.0%	32.3%	19.4%	6.5%	12.9%	100.0%
女性	回答	22	28	7	5	5	67
	性別の%	32.8%	41.8%	10.4%	7.5%	7.5%	100.0%

n = 98

表3 中国と長崎で利用頻度の多い決済方法

	クレジットカード	銀聯カード	支付宝	微信支付	現金	その他	合計	支付宝+微信支付
中国	49	36	54	32	21	0	192	86
	25.5%	18.8%	28.1%	16.7%	10.9%	0.0%	100.0%	44.8%
長崎	71	42	15	8	41	1	178	23
	39.9%	23.6%	8.4%	4.5%	23.0%	0.6%	100.0%	12.9%

(注) 設問では利用頻度の1位、2位を質問。だが、順位付けの回答が不十分で、集計では複数回答として処理。

の点は、多数を対象とする対面調査では起きることである。事前の調査者への研修という形で今後、検討すべき課題である。

## 6. 決済方法の単純集計

中国で日常利用する決済方法は、モバイル決済の支付宝が28.1%で最上位にある。微信支付と合計すると、44.8%と半数に近く、高い利用頻度が確認できた(表3)。

長崎では、クレジットカードが1位で、デビットカードの銀聯カードと現金が続いている。

韓国訪日客2017年対馬調査では利用頻度は1位から3位まで3ランクで質問した<sup>16</sup>。1-3位の合計では、韓国ではクレジットカードが79人、現金が76人、デビットカード28人、モバイル決済25人、また対馬では現金が97人、クレジットカードが56人だった。

## 7. 決済方法のクロス集計

中国でクレジットカードの利用頻度が高いと答えたグループの50.0%、長崎でもクレジット

カードを利用すると答えている(表4)。銀聯カードの利用頻度が高いと答えたグループの37.9%は長崎でも銀聯カードの利用頻度が高い。モバイル決済(支付宝+微信支付)、現金は、それぞれ長崎ではクレジットカードをよく利用している。

## 8. 買い物場所

クルーズのインバウンド客が買い物をした場所はアンケート用紙の設問では、利用頻度を順位付けで問うものである。しかしながら、調査員が順位付けの回答を徹底できなかった。このため、複数回答として処理している。

長崎滞在中で比較的良好よく買い物した場所は、①ドラッグストア、②免税店、③百貨店・デパート、④コンビニエンスストアである(表5)。4つで回答数合計に対して8割近くを占める。

4つの商業形態では、クレジットカードの利用頻度が高いのは①ドラッグストア、②コンビニエンスストア、③百貨店・デパート、④免税店となった(表6)。②、③、④の差は大きく

表4 中国と長崎の決済方法のクロス集計

		長崎							
		クレジットカード	銀 聯 カード	支付宝	微信支付	現金	その他	支付宝+ 微信支付	銀聯カード +現金
中国	クレジットカード	45	18	7	3	17	0	10	35
	対回答数	<b>50.0%</b>	20.0%	7.8%	3.3%	18.9%	0.0%	11.1%	<b>38.9%</b>
	銀聯カード	20	25	5	4	11	1	9	36
	対回答数	30.3%	<b>37.9%</b>	7.6%	6.1%	16.7%	1.5%	13.6%	<b>54.5%</b>
	支付宝	39	22	11	3	24	0	14	46
	対回答数	<b>39.4%</b>	22.2%	11.1%	3.0%	24.2%	0.0%	14.1%	<b>46.5%</b>
	微信支付	21	12	7	7	13	1	14	25
	対回答数	<b>34.4%</b>	19.7%	11.5%	11.5%	21.3%	1.6%	23.0%	<b>41.0%</b>
現金	14	5	1	0	18	0	1	23	
対回答数	<b>36.8%</b>	13.2%	2.6%	0.0%	<b>47.4%</b>	0.0%	2.6%	<b>60.5%</b>	

(注) 対回答数(%)の太字は33%以上。

設問では利用頻度の1位、2位を質問。だが、順位付けの回答が不十分で、集計では複数回答として処理。

はない。3人に一人以上がクレジットカードを利用していたことになる。

### 9. 買い物金額の比較

アンケートの間8では、長崎滞在中に買い物をした場所を選択してもらい、中国人観光客は長崎のどのような場所に集まるのかを明らかにした。選択肢は、訪日外国人観光客をよく見かける百貨店やデパート、ドラッグストアなどとその他を含む12の選択肢となっている。また、問3では長崎での購入品を選択してもらい、中国人観光客は何を求めて長崎(日本)に来るのかを明らかにする。

長崎での買い物の合計金額と船内で使用した合計金額(表7)を比較してわかるように、訪日中国人観光客はクルーズ船内よりも長崎で多くのお金を使用していることが明らかになった。5日間の旅程のうち3日の長崎観光を終えた段階で質問する限りでは、上記のことがわかった。

クルーズ船内の使用金額割合が長崎買い物金

表5 長崎滞在中に買い物をした場所

	回答数
1位 ドラッグストア	71
2位 免税店	55
3位 百貨店・デパート	30
4位 コンビニエンスストア	21
5位 スーパーマーケット	9
6位 家電量販店	7
7位 ディスカウントストア	6
7位 ファッション専門店	6
7位 100円ショップ	6
10位 お土産売り場	5
11位 その他ショッピングストア	3
11位 その他	3
13位 宿泊施設	0

(注) 設問では利用頻度の1位、2位を質問。だが、順位付けの回答が不十分で、集計では複数回答として処理。

額割合を上回っているのは、1,500元以下の金額である。

表6 買い物場所別の利用決済方法

	クレジットカード	銀聯カード	支付宝	微信支付	現金	その他	支付宝+微信支付	銀聯カード+現金
ドラッグストア	53	31	11	6	26	0	17	57
対回答数	<b>41.7%</b>	24.4%	8.7%	4.7%	20.5%	0.0%	13.4%	<b>44.9%</b>
免税店	26	26	8	6	14	0	14	40
対回答数	32.5%	32.5%	10.0%	7.5%	17.5%	0.0%	17.5%	<b>50.0%</b>
百貨店/デパート	19	15	6	2	12	1	8	27
対回答数	<b>34.5%</b>	27.3%	10.9%	3.6%	21.8%	1.8%	14.5%	<b>49.1%</b>
コンビニエンスストア	56	35	12	7	30	1	19	65
対回答数	<b>39.7%</b>	24.8%	8.5%	5.0%	21.3%	0.7%	13.5%	<b>46.1%</b>

(注) 対回答数(%)の太字は33%以上。

設問では利用頻度の1位、2位を質問。だが、順位付けの回答が不十分で、集計では複数回答として処理。

表7 長崎の消費額と船内の買い物金額との比較

	長崎買い物金額		船内使用金額		回答①-②
	回答①	パーセント	回答②	パーセント	
500円未満	5	5.2%	<b>18</b>	18.9%	<b>-13.8%</b>
500円~1,000円	4	4.1%	<b>17</b>	17.9%	-13.8%
1000円~1,500円	11	11.3%	<b>13</b>	13.7%	-2.3%
1,500円~2,000円	<b>10</b>	10.3%	9	9.5%	0.8%
2,000円~3,000円	<b>12</b>	12.4%	8	8.4%	4.0%
3,000円~4,000円	<b>15</b>	15.5%	9	9.5%	6.0%
4,000円~5,000円	<b>14</b>	14.4%	2	2.1%	12.3%
5,000円以上	<b>26</b>	26.8%	19	20.0%	6.8%
合計	97	100.0%	95	100.0%	0.0%

## 10. アンケート調査考察

中国訪日客2017年長崎調査は、韓国訪日客2017年対馬調査の3か月後に実施された。両方の調査で、中国訪日客はモバイル決済、韓国訪日客はクレジットカードと、それぞれのキャッシュレス化の特徴が長崎や対馬の観光地でも確認できた。

クレジットカードの普及や利用促進が課題だった対馬とは違い、長崎ではクレジットカードが広く利用されていた。

モバイル決済が長崎でさほど利用度があまり高くないのは、とくに対応が進んでいるコンビニ

エンスストアでも低いことから、いくつか解釈ができる。長崎に滞在できる時間は最大で8時間程度しかない。昼食と少し買い物と考えれば、最短4時間も可能だろう。

いずれにしろクルーズ船は中間層や富裕層が参加する日帰りツアーと考えられる。短時間の間に、いろいろな決済方法にチャレンジする必要はない。今回のツアー参加者であれば、100%近くクレジットカードを保有しているのではないかと。また銀聯カードであれば、銀行口座保有者に付与されるサービスである。

① クレジットカードや銀聯カードで決済が



できていれば、何もQRコードを読ませてモバイル決済をする必要もないのかもしれない。

- ② コンビニエンスストアなど日本の流通業の側に、決済方法と手数料やリスクなどから、とくにモバイル決済を強く打ち出さないのだろうか。

このあたりは今後の課題にしたい。

## おわりに

長崎に来るクルーズ船は、もともと長崎と上海の定期航路に備えた港湾整備が、時代とともに主役がわかり、中国から一回当たり数千人の観光客を運んでくる。バス、航空機、そして鉄道でも代替できない大量輸送である。クルーズ船はそもそも不定期便である。冒頭のように、日本が観光消費でインバウンド客に期待が高まっている。

ただし、受け入れる側も、訪日客の変化、高級志向、多様性などへの戦略も必要になってくる。

国際観光はそもそも、安定したビジネスではない。ただし、世界金融危機からの景気回復が長期化し、そのなかで中国や韓国、東南アジアからのインバウンド客が増加してきた。

中国訪日客に絞っても、所得上昇で長期的には日本より豊かな人が増えていく。ということは、観光消費力は潜在的に高まるわけだが、その高まるニーズは必ずしも、爆買いのように多額の買い物をするのではなくなっていく。

在中国の日本領事業務は日本の海外公館のなかでも規模が大きく、多忙だという。ビザ発給業務を民間移管するなど思い切った改革を行えば、近接性を生かして、中国人観光客は増えていく。

冒頭で、西日本新聞の社説を紹介した。ようやく誘致できたラグビーワールドカップを機会に、欧米向けのPRを強化したいではなく、2020年のオリンピックやそれ以降も踏まえて、近隣諸国に向けた戦略の立案と実行が急務である。欧米系アジア系を問わず、海外の高級ホテルの誘致をする方が、広告的なPRよりは戦略的な提案だろう。外資系企業が入ることも多様性であり、生活する外国人経営者や管理職が増えることが、日本の海外へのPRや架け橋につながる。

## 注

- 1 西日本新聞(2019年1月19日)「【社説】訪日客3千万人「九州人気」欧米へ広げよ」『西日本新聞』朝刊。
- 2 JR東日本中心に首都圏の朝夕の混雑でも対応できる速度が求められた。海外では香港でSUICAにも採用されているFeliCa(フェリカ)が交通系カードの八達通(オクトパス: Octopus Cards)に使われている。FeliCaは、ソニーが開発した非接触型ICカードの技術方式である。オクトパスを使う香港の地下鉄(MTR)の2009年決算説明会で、質問すると、日本の技術は精度も高いが、コストも伴うため、「日本以外では必要のない」過度な技術になりかねないと指摘された。
- 3 世界のキャッシュレス化については、川野祐司(2018年)『キャッシュレス経済-21世紀の貨幣論』文眞堂が詳しい。
- 4 国土交通省(2019年1月18日)「2018年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港回数(速報値)」。
- 5 小原篤次・平良棟子(2018年)「インバウンドのキャッシュレス需要に関する研究-韓国訪日客2017年対馬調査-」『東アジア評論』第10号、27-46ページ。
- 6 川野祐司(2018年)『キャッシュレス経済-21世紀の貨幣論』文眞堂、17ページ。
- 7 筆者も2018年10月下旬、キャッシュレス化も踏まえたスマートシティに関する学際的な研究会 Seminar-Smart Cities in the Anthropocene(於: University of Gävle)参加のため、スウェーデンを訪問した。ストックホルム・アーランダ空港に直結するSJ AB(エスイー・アーベー、Statens järnvägar aktiebolag: 国家鉄道株式会社)の駅で、指定された列車に乗り遅れた。駅係員は現金を取り扱わない事例を体験した。Gävle駅は、売店やカフェが8店舗ほど入居するにぎやかな駅だったが、駅員も見当たらなかった。5カ所の有料トイレのうち4カ所はクレ

- ジットカードやデビットカード対応でコイン対応は一台だった。
- 8 共同(2019年1月30日)「クルーズ船客の消費拡大を目指す 観光庁がモデル事業」『西日本新聞』朝刊6ページ。
- 9 Ryan C., S. Minghui, Z. Xiaoyu, F. Li, L. Ping, G. Jun, J. Yi, H. Lin, (2017), Illustrations of Chinese tourism research, *Tourism Management*, 58, 229-234.
- 10 Hung, K., Wang, S. Denizci Guillet, B. and Liu, Z. (2019), An overview of cruise tourism research through comparison of cruise studies published in English and Chinese, *International Journal of Hospitality Management*, 77, 207-216. クルーズ観光に関して、中国に関する英文の97本の論文をサーベイしている。
- 11 長崎県立大学シーボルト校(国際交流学科、国際社会学科)および長崎大学経済学部の学生・留学生が調査を担当した。学生の日程制約から、調査対象が週末となり、そうした制約の中で、マジスティック・プリンセス号が選ばれたものである。中国訪日客2017年長崎調査の質問票は、韓国訪日客2017年10月の対馬調査や訪日外国人消費動向調査の質問票を参照している。また実施時期については、4年生3名で実施した対馬調査で学生調査員にノウハウが伝授しやすく、比較のためにもあまり時間を空けずに中国訪日客2017年12月長崎調査を準備した。
- 12 Majestic Princess (中国語: 盛世公主号)。米国プリンセスクルーズ社が運航する「ロイヤル・クラス」のクルーズ船。初の中国人客向け専用の客船であり、2017年春から運航。
- 13 IBM SPSS Statistics バージョン24。
- 14 問9、10では日常生活(母国の中国)で使用する決済方法と長崎で使用した決済方法を聞き、母国と日本では決済方法が異なるのか調査を行った。選択肢は、「①クレジットカード」、「②銀聯カード」、「③支付宝」、「④微信支付」、「⑤現金」、「⑥その他」となっている。
- まず、アンケートの選択肢に用いた「銀聯カード」、「支付宝」、「微信支付」について説明する。一つ目の「銀聯カード」とは、中国で発行されているクレジットカードであり、中国で最も多く使われているカードである。発行枚数は65億枚以上と世界一発行枚数が多い。二つ目の「支付宝(アリペイ)」は、世界最大のIT企業「アリババグループ」が提供する中国最大規模のオンライン決済サービスである。三つ目の「微信支付」は、中国で最も利用されているコミュニケーションアプリ「WeChat(微信)」のなかで提供されている決済サービス「WeChat Pay」のことであり、4億人の中国人が利用していると言われる人気のモバイル決済サービスで、中国3大決済の一つである。
- 15 観光庁(2018年3月)「訪日外国人の消費動向訪日外国人消費動向調査結果及び分析平成29年年次報告書」、28および34ページ。
- 16 小原篤次・平良棟子(2018年)「インバウンドのキャッシュレス需要に関する研究—韓国訪日客2017年対馬調査—」『東アジア評論』第10号、36ページ。

## 別紙 アンケート用紙

## 長崎観光調査

訪日観光促進のため、観光調査を実施しています。該当する数字を○で囲むか、所定の事項にご記入していただく形式です。調査結果は、長崎県立大学の学生や教員の論文として活用させていただきます。ご協力、よろしくお願いします。

## 調査実施者

長崎県立大学国際情報学部

国際交流学科 4年

瀧田水紀（たきだみずき）

## 調査責任者

長崎県立大学准教授

小原篤次

ohara2012@sun.ac.jp

1. 性別・年齢を教えてください。

【性別】 ① 男 ② 女

【年齢】 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代

2. 今回のクルーズ船の料金を教えてください。○はひとつ。

何人分の金額ですか？（ ）人分（子供を含む）

① 8,000 元未満 ② 8,000 元～10,000 元 ③ 10,000 元～20,000 元

④ 20,000 元～30,000 元 ⑤ 30,000 元～40,000 元 ⑥ 40,000 元以上

3. 長崎で何を買いましたか。主に購入した商品を多いものから順に2つ選び、[ ]に番号をいれてください。

① 菓子類 ② 食料品 ③ 飲料/酒 ④ たばこ ⑤ 衣料品/靴

⑥ お土産 ⑦ 家電 ⑧ 書籍/CD/DVD ⑨ 宝石/アクセサリ

⑩ 医薬品 ⑪ 化粧品/香水 ⑫ かばん ⑬ マンガ/アニメ関連商品

⑭ 健康グッズ ⑮ カメラ/ビデオカメラ ⑯ 時計 ⑰ 和服・民芸品

⑱ その他（ ）

1 [ ] 2 [ ]

4. 船内で何の商品にお金を消費しましたか。主に消費した商品を多いものから順に2つ選び、[ ]に番号をいれてください。

① 菓子類 ② 食料品 ③ 飲料/酒 ④ たばこ ⑤ お土産 ⑥ かばん

⑦ 宝石/アクセサリ ⑧ 時計 ⑨ 衣料品/靴 ⑩ 家電 ⑪ カジノ

⑫ エステ ⑬ レストラン ⑭ ネイル ⑮ その他（ ）

1 [ ] 2 [ ]

5. 今回のクルーズ観光でいくら現金を持ってきましたか。○はひとつ。  
何人分の金額ですか？（ ）人分（子供を含む）  
① 500 元未満 ② 500元～1,000元 ③ 1000元～1,500元 ④ 1,500元～2,000元  
⑤ 2,000 元～3,000 元 ⑥ 3,000 元～4,000 元 ⑦ 4,000元～5,000元 ⑧ 5,000元以上
6. 長崎での買い物の合計金額を教えてください。○はひとつ。  
何人分の金額ですか？（ ）人分（子供を含む）  
① 500 元未満 ② 500 元～1,000 元 ③ 1000 元～1,500 元 ④ 1,500 元～2,000 元  
⑤ 2,000 元～3,000 元 ⑥ 3,000 元～4,000 元 ⑦ 4,000 元～5,000 元 ⑧ 5,000 元以上
7. 船内で使用した合計金額を教えてください。○はひとつ。  
何人分の金額ですか？（ ）人分（子供を含む）  
① 500 元未満 ② 500 元～1,000 元 ③ 1000 元～1,500 元 ④ 1,500 元～2,000 元  
⑤ 2,000 元～3,000 元 ⑥ 3,000 元～4,000 元 ⑦ 4,000 元～5,000 元 ⑧ 5,000 元以上
8. 長崎滞在中に買い物をした場所を教えてください。多いものから順に2つ選び、[ ]  
に番号をいれてください。  
① 百貨店・デパート ② ドラッグストア ③ 家電量販店 ④ 免税店  
⑤ ファッション専門店 ⑥ その他ショッピングストア ⑦ 100円ショップ  
⑧ ディスカウントストア ⑨ お土産売り場 ⑩ コンビニエンスストア  
⑪ スーパーマーケット ⑫ 宿泊施設 ⑬ その他（ ）  
1 [ ] 2 [ ]
9. 日常生活で使用する決済方法のなかで、使用頻度の多いものから順に2つ選び、[ ]  
に番号をいれてください。中国の方は中国の日常生活で回答してください。  
① クレジットカード ② 銀聯カード ③ 支付宝 ④ 微信支付  
⑤ 現金 ⑥ その他（ ）  
1 [ ] 2 [ ]
10. 長崎で使用した決済方法のなかで、使用頻度の多いものから順に2つ選び、[ ]に番号  
をいれてください。  
① クレジットカード ② 銀聯カード ③ 支付宝 ④ 微信支付  
⑤ 現金 ⑥ その他（ ）  
1 [ ] 2 [ ]

ご協力、ありがとうございました。

## 长崎观光调查

为了促进访日观光，我们进行了此次观光调查。请在适合的数字上画圈或在相应空格填入数字。调查结果将使用于长崎县立大学的学生和教师的论文。感谢您的合作。

## 调查发行人

长崎县立大学国际情报学部  
国际交流学科  
泷田水纪

## 调查责任人

长崎县立大学副教授  
小原笃次  
ohara2012@sun.ac.jp

1. 性别·年龄 请在相应数字上画圆。

【性别】 ① 男 ② 女

【年龄】 ① 10-19 ② 20-29 ③ 30-39 ④ 40-49 ⑤ 50-59 ⑥ 60-69

2. 本次周游观光船的费用是多少？请在相应数字上画圆。【单选】

一共几个人？（ ）个人（包含孩子）

- ① 不到 8,000 元                      ② 8,000 元～10,000 元                      ③ 10,000 元～20,000 元  
④ 20,000 元～30,000 元                      ⑤ 30,000 元～40,000 元                      ⑥ 40,000 元以上

3. 您在长崎买了什么东西？请选择 2 个消费金额最多的东西，并将数字填在[ ]内。

- ① 糕点类      ② 食品      ③ 饮料/酒      ④ 烟      ⑤ 衣服/鞋子  
⑥ 特产品      ⑦ 家电产品      ⑧ 书籍/CD/DVD      ⑨ 宝石/首饰  
⑩ 药品      ⑪ 化妆品/香水      ⑫ 包      ⑬ 漫画/有关动漫的商品  
⑭ 保健品      ⑮ 照相机/摄像机      ⑯ 钟表      ⑰ 和服・民间艺术品  
⑱ 其他（                      ）

1 [                      ]      2 [                      ]

4. 您在船上进行了什么消费？请选择 2 个消费金额最多的东西，并将数字填在[ ]内。

- ① 糕点类      ② 食品      ③ 饮料/酒      ④ 烟      ⑤ 手信      ⑥ 包  
⑦ 宝石/首饰      ⑧ 钟表      ⑨ 衣服/鞋子      ⑩ 家电      ⑪ 赌博  
⑫ 全身美容      ⑬ 餐厅      ⑭ 美甲      ⑮ 其他（                      ）

1 [                      ]      2 [                      ]

5. 本次周游观光您带来了多少现金? 请在相应数字上画圆。【单选】

一共几个人? ( ) 个人 (包含孩子)

- ① 不到 500 元    ② 500 元~1,000 元    ③ 1000 元~1,500 元    ④ 1,500 元~2,000 元  
⑤ 2,000 元~3,000 元    ⑥ 3,000 元~4,000 元    ⑦ 4,000 元~5,000 元    ⑧ 5,000 元以上

6. 您在长崎的购物费用一共是多少? 请在相应数字上画圆。【单选】

一共几个人? ( ) 个人 (包含孩子)

- ① 不到 500 元    ② 500 元~1,000 元    ③ 1000 元~1,500 元    ④ 1,500 元~2,000 元  
⑤ 2,000 元~3,000 元    ⑥ 3,000 元~4,000 元    ⑦ 4,000 元~5,000 元    ⑧ 5,000 元以上

7. 您在船上的消费金额总计为多少。请在相应数字上画圆。【单选】

一共几个人? ( ) 个人 (包含孩子)

- ① 不到 500 元    ② 500 元~1,000 元    ③ 1000 元~1,500 元    ④ 1,500 元~2,000 元  
⑤ 2,000 元~3,000 元    ⑥ 3,000 元~4,000 元    ⑦ 4,000 元~5,000 元    ⑧ 5,000 元以上

8. 您在长崎哪里进行了购物? 并将数字填在[ ]内。

- |        |        |          |       |
|--------|--------|----------|-------|
| ① 商场   | ② 药妆店  | ③ 家电百货   | ④ 免税店 |
| ⑤ 品牌专柜 | ⑥ 其他商店 | ⑦ 百元店    |       |
| ⑧ 折扣店  | ⑨ 纪念品店 | ⑩ 便利店    |       |
| ⑪ 超市   | ⑫ 住宿   | ⑬ 其他 ( ) |       |
- 1 [ ]    2 [ ]

9. 请选择您在日常生活中最常使用的 2 种支付手段, 并将数字填在[ ]内。【中国人以中国实际情况为准】

- |             |          |       |      |
|-------------|----------|-------|------|
| ① 信用卡<br>支付 | ② 银联卡    | ③ 支付宝 | ④ 微信 |
| ⑤ 现金        | ⑥ 其他 ( ) |       |      |
- 1 [ ]    2 [ ]

10. 请选择您在长崎最常使用的 2 种支付手段, 并将数字填在[ ]内。

- |              |          |       |     |
|--------------|----------|-------|-----|
| ① 信用卡<br>信支付 | ② 银联卡    | ③ 支付宝 | ④ 微 |
| ⑤ 现金         | ⑥ 其他 ( ) |       |     |
- 1 [ ]    2 [ ]

感谢您的合作。

## 参考文献

- 小原篤次・平良棟子（2018年）「インバウンドのキャッシュレス需要に関する研究—韓国訪日客2017年対馬調査—」『東アジア評論』第10号、27-46ページ。
- 川野祐司（2018年）『キャッシュレス経済—21世紀の貨幣論』文真堂。
- 観光庁（2019年1月16日）「訪日外国人消費動向調査」<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouthityousa.html>
- 観光庁（2018年3月）「訪日外国人の消費動向 訪日外国人消費動向調査結果及び分析平成29年年次報告書」。
- 共同（2019年1月30日）「クルーズ船客の消費拡大目指す 観光庁がモデル事業」『西日本新聞』朝刊。
- 国土交通省（2019年1月16日）「2018年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港回数（速報値）」[http://www.mlit.go.jp/report/press/port04\\_hh\\_000238.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port04_hh_000238.html)
- 西日本新聞（2019年1月19日）「【社説】訪日客3千万人 「九州人気」欧米へ広げよ」『西日本新聞』朝刊。
- Hung, K., Wang, S. Denizci Guillet, B. and Liu, Z. (2019) An overview of cruise tourism research through comparison of cruise studies published in English and Chinese, *International Journal of Hospitality Management*, 77.
- Ryan C., S. Minghui, Z. Xiaoyu, F. Li, L. Ping, G. Jun, J. Yi, H. Lin, (2017), Illustrations of Chinese tourism research, *Tourism Management*, 58.